

# 令和4年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	富山県		市町村類型	I - 2		指定団体等の指定状況		区分		令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		区分		令和4年度(千円・%)		令和3年度(千円・%)																																																																																																																																																																																																																																			
						財政健全化等	×	歳入総額	2,161,891	2,303,382	実質収支比率	17.0	14.7																																																																																																																																																																																																																																								
市町村名	舟橋村		地方交付税種地	2-3		財源超過	×	歳出総額	1,923,995	2,083,511	経常収支比率	82.7	75.5																																																																																																																																																																																																																																								
						首都	×	歳入歳出差引	237,896	219,871	(※1)	(83.7)	(78.9)																																																																																																																																																																																																																																								
人口	令和2年国調(人)	3,132	産業構造(※5)		中部	○	翌年度に繰越すべき財源	18,303	22,610	標準財政規模	1,293,885	1,339,302																																																																																																																																																																																																																																									
	平成27年国調(人)	2,982			近畿	×	実質収支	219,593	197,261	財政力指数	0.33	0.35																																																																																																																																																																																																																																									
	増減率(%)	5.0			過疎	×	単年度収支	22,332	84,932	公債費負担比率	10.4	10.2																																																																																																																																																																																																																																									
住民基本台帳人口(※7)	令和05.01.01(人)	3,271	第1次	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金	0	100,000	健全化判断比率	-	-																																																																																																																																																																																																																																							
	うち日本人(人)	3,221		51	67	指数表選定	○	積立金取崩し額	0	0	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																																																																																								
	令和04.01.01(人)	3,274	第2次	2.9	4.2	基準財政収入額	391,258	368,962	資金不足比率(※4)	-	-																																																																																																																																																																																																																																										
	うち日本人(人)	3,235		600	490	基準財政需要額	1,179,955	1,185,987	実質公債費比率	9.6	10.3																																																																																																																																																																																																																																										
	増減率(%)	-0.1	34.5	30.9	標準税収入額等	489,637	461,885	将来負担比率	61.1	74.0																																																																																																																																																																																																																																											
	うち日本人(%)	-0.4	1,086	1,028	経常経費充当一般財源等	1,097,874	1,051,385																																																																																																																																																																																																																																														
面積(km <sup>2</sup> )	3.47	62.5	64.9	歳入一般財源等	1,612,853	1,635,714																																																																																																																																																																																																																																															
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	903																																																																																																																																																																																																																																																				
世帯数(世帯)	1,051																																																																																																																																																																																																																																																				
職員の状況(※8)																																																																																																																																																																																																																																																					
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	1,868,859	1,979,774																																																																																																																																																																																																																																										
	市区町村長	1	6,500	一般職員	28	76,104	2,718	うち公的資金	1,453,992	1,537,379																																																																																																																																																																																																																																											
	副市区町村長	-	-	うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	1,149,603	1,199,123																																																																																																																																																																																																																																											
	教育長	1	4,300	うち技能労務職員	2	*	*	債務負担行為額(支出予定額)	2,260	3,143																																																																																																																																																																																																																																											
	議会議長	1	2,500	教育公務員	-	-	-	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																																																																																											
	議会副議長	1	2,200	臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	33,200	33,200																																																																																																																																																																																																																																											
	議会議員	5	2,000	合計	28	76,104	2,718	財政調整基金	755,000	705,000																																																																																																																																																																																																																																											
					ラスパレス指数			92.3	積立金現在高	5,356	5,356																																																																																																																																																																																																																																										
									減債基金	5,356	5,356																																																																																																																																																																																																																																										
									その他特定目的基金	56,162	52,514																																																																																																																																																																																																																																										
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td></td> <td>(3) 国民健康保険事業</td> <td></td> <td>(5) 簡易水道事業</td> <td></td> <td>(6) 富山地区広域圏事務組合</td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td>(2) 土地取得事業特別会計</td> <td></td> <td>(4) 後期高齢者医療事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(7) 富山県市町村会館管理組合</td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(8) 富山県東部消防組合(一般会計)</td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9) 富山県市町村総合事務組合</td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10) 富山県後期高齢者医療広域連合</td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11) [一般会計]</td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12) [後期高齢者医療事業特別会計]</td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13) 常願寺川右岸水防市町村組合</td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14) 中新川広域行政事務組合</td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15) [一般会計]</td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> </table>																				一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名													(1) 一般会計		(3) 国民健康保険事業		(5) 簡易水道事業		(6) 富山地区広域圏事務組合														(2) 土地取得事業特別会計		(4) 後期高齢者医療事業				(7) 富山県市町村会館管理組合																				(8) 富山県東部消防組合(一般会計)																				(9) 富山県市町村総合事務組合																				(10) 富山県後期高齢者医療広域連合																				(11) [一般会計]																				(12) [後期高齢者医療事業特別会計]																				(13) 常願寺川右岸水防市町村組合																				(14) 中新川広域行政事務組合																				(15) [一般会計]													
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																																																																																
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名																																																																																																																																																																																																																																														
(1) 一般会計		(3) 国民健康保険事業		(5) 簡易水道事業		(6) 富山地区広域圏事務組合																																																																																																																																																																																																																																															
(2) 土地取得事業特別会計		(4) 後期高齢者医療事業				(7) 富山県市町村会館管理組合																																																																																																																																																																																																																																															
						(8) 富山県東部消防組合(一般会計)																																																																																																																																																																																																																																															
						(9) 富山県市町村総合事務組合																																																																																																																																																																																																																																															
						(10) 富山県後期高齢者医療広域連合																																																																																																																																																																																																																																															
						(11) [一般会計]																																																																																																																																																																																																																																															
						(12) [後期高齢者医療事業特別会計]																																																																																																																																																																																																																																															
						(13) 常願寺川右岸水防市町村組合																																																																																																																																																																																																																																															
						(14) 中新川広域行政事務組合																																																																																																																																																																																																																																															
						(15) [一般会計]																																																																																																																																																																																																																																															

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、令和4年度地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比
地方税	416,284	19.3	416,284	31.7	普通税	416,284	100.0
地方譲与税	10,430	0.5	10,430	0.8	法定普通税	416,284	100.0
利子割交付金	239	0.0	239	0.0	市町村民税	223,316	53.6
配当割交付金	3,044	0.1	3,044	0.2	個人均等割	5,981	1.4
株式等譲渡所得割交付金	2,180	0.1	2,180	0.2	所得割	202,940	48.8
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	5,893	1.4
地方消費税交付金	74,005	3.4	74,005	5.6	法人税割	8,502	2.0
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	162,881	39.1
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	162,751	39.1
自動車取得税交付金	22	0.0	22	0.0	軽自動車税	10,353	2.5
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	19,734	4.7
自動車税環境性能割交付金	1,018	0.0	1,018	0.1	鉱産税	-	-
法人事業税交付金	4,290	0.2	4,290	0.3	特別土地保有税	-	-
地方特例交付金等	6,683	0.3	6,683	0.5	法定外普通税	-	-
個人住民税減収補填特例交付金	6,683	0.3	6,683	0.5	目的税	-	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	-	-	-	-	法定目的税	-	-
地方交付税	850,568	39.3	788,697	60.1	入湯税	-	-
普通交付税	788,697	36.5	788,697	60.1	事業所税	-	-
特別交付税	61,871	2.9	-	-	都市計画税	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-
(一般財源計)	1,368,763	63.3	1,306,892	99.7	法定外目的税	-	-
交通安全対策特別交付金	-	-	-	-	旧法による税	-	-
分担金・負担金	166	0.0	-	-	合計	416,284	100.0
使用料	38,843	1.8	-	-			
手数料	1,382	0.1	-	-			
国庫支出金	367,906	17.0	-	-			
国有提供交付金(特別区調交付金)	-	-	-	-			
都道府県支出金	105,582	4.9	-	-			
財産収入	4,607	0.2	4,450	0.3			
寄附金	12,447	0.6	-	-			
繰入金	-	-	-	-			
繰越金	169,871	7.9	-	-			
諸収入	43,673	2.0	-	-			
地方債	48,651	2.3	-	-			
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-			
うち臨時財政対策債	15,551	0.7	-	-			
歳入合計	2,161,891	100.0	1,311,342	100.0			

歳入の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	32,684	1.7	-	32,684
総務費	365,737	19.0	2,601	324,118
民生費	668,122	34.7	1,067	297,929
衛生費	121,168	6.3	-	71,619
労働費	-	-	-	-
農林水産業費	39,838	2.1	8,234	30,028
商工費	3,851	0.2	-	3,851
土木費	220,312	11.5	99,969	160,521
消防費	56,389	2.9	238	56,389
教育費	247,612	12.9	9,704	229,536
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	168,282	8.7	-	168,282
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	1,923,995	100.0	121,813	1,374,957

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	763,992	39.7	460,482	442,356	33.3
人件費	301,716	15.7	292,200	274,074	20.7
うち職員給	166,106	8.6	159,192	-	-
扶助費	293,994	15.3	-	-	-
公債費	168,282	8.7	168,282	168,282	12.7
元利償還金	168,182	8.7	168,182	168,182	12.7
うち元金	159,566	8.3	159,566	159,566	12.0
うち利子	8,616	0.4	8,616	8,616	0.6
一時借入金利子	100	0.0	100	100	0.0
その他の経費	1,038,190	54.0	846,588	655,518	49.4
物件費	578,101	30.0	441,415	331,254	25.0
維持補修費	21,475	1.1	19,580	1,656	0.1
補助費等	318,899	16.6	281,449	227,467	17.1
うち一部事務組合負担金	65,258	3.4	65,258	61,171	4.6
繰出金	110,562	5.7	95,141	95,141	7.2
積立金	3,648	0.2	3,648	-	-
投資・出資金・貸付金	5,505	0.3	5,355	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	121,813	6.3	67,887	67,887	5.0
うち人件費	7,450	0.4	3,753	3,753	0.3
普通建設事業費	121,813	6.3	67,887	67,887	5.0
うち補助	47,937	2.5	7,800	7,800	0.6
うち単独	73,876	3.8	60,087	60,087	4.4
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	1,923,995	100.0	1,374,957	1,374,957	71.0

(注釈)  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。



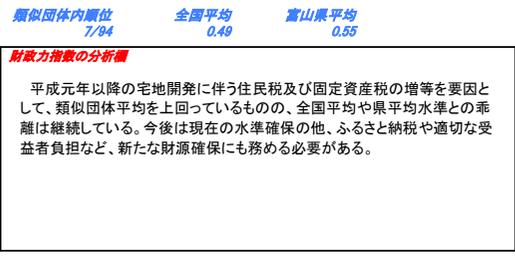
### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	3,271	人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	3,221	人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	3.47	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	9.6	%
歳入総額	2,161,891	千円	将来負担比率	61.1	%
歳出総額	1,923,995	千円			
実質収支	219,593	千円	市町村類型	H30 I-2 R01 I-2 R02 I-2	
標準財政規模	1,293,885	千円	(年度毎)	R03 I-2 R04 I-2	
地方債現在高	1,868,859	千円			

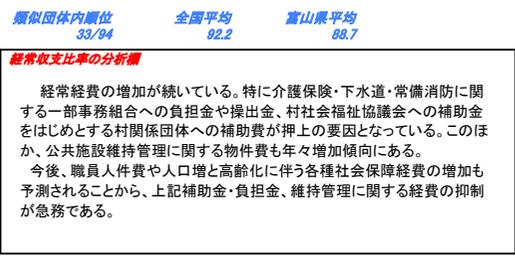
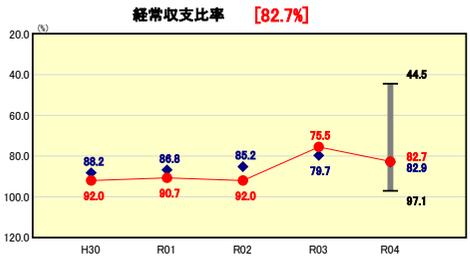


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスバイス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

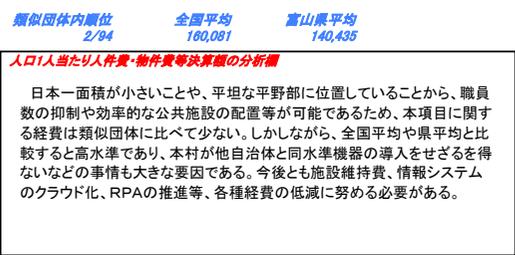
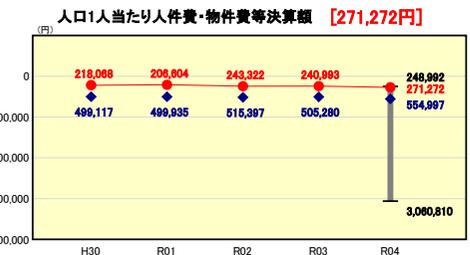
#### 財政力



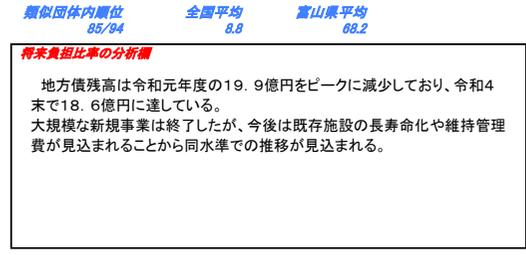
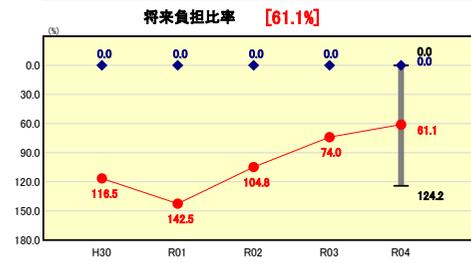
#### 財政構造の弾力性



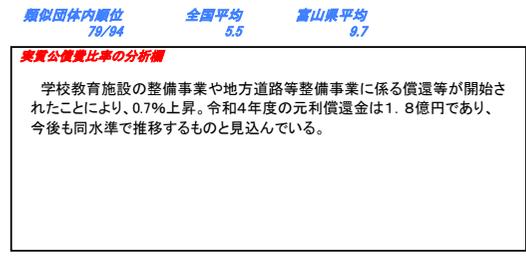
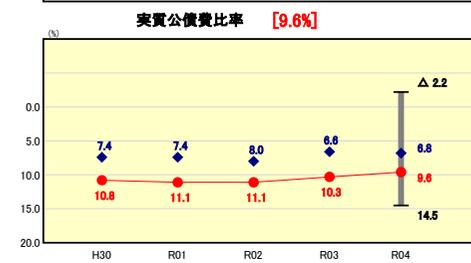
#### 人件費・物件費等の状況



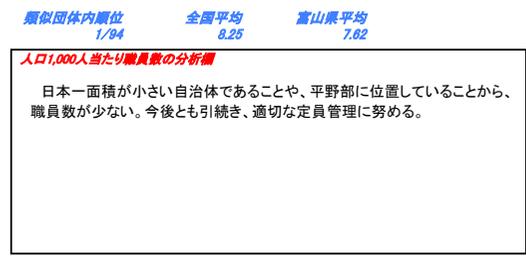
#### 将来負担の状況



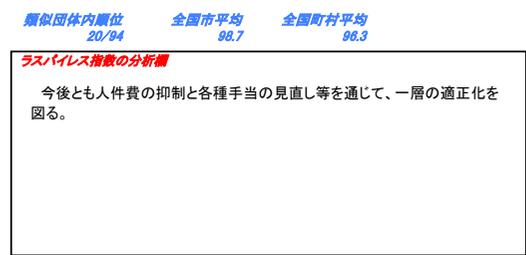
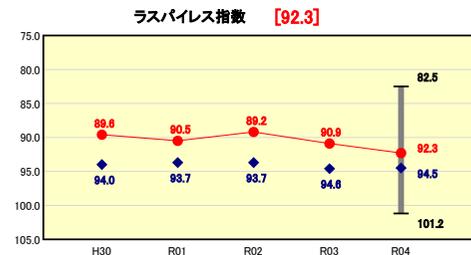
#### 公債費負担の状況



#### 定員管理の状況



#### 給与水準 (国との比較)



# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

富山県舟橋村

## 経常収支比率の分析

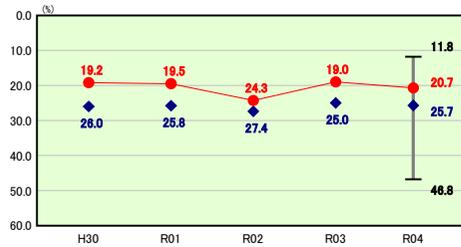
人口	3,271	人(R5.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	3,221	人(R5.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	3.47	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	9.6	%
歳入総額	2,161,891	千円	将来負担比率	61.1	%
歳出総額	1,923,995	千円	市町村類型	H30 I-2 R01 I-2 R02 I-2	
実収収支	219,593	千円	(年度毎)	R03 I-2 R04 I-2	
標準財政規模	1,293,885	千円			
地方債現在高	1,868,859	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

### 人件費

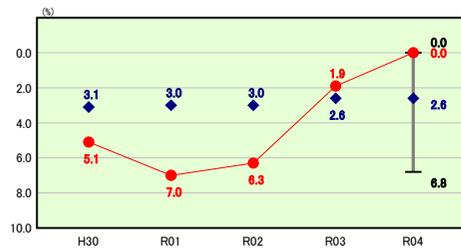
類似団体内順位 11/94 全国平均 25.9 富山県平均 21.1



**人件費の分析欄**  
 前述の要因に加え、介護保険や下水道事業等は一部事務組合で実施しているため、人件費は類似団体平均を下回っているが、令和4年1月1日現在の職員の平均年齢が40歳であるなど、今後は継続的に人件費が増加することが予想される。

### 扶助費

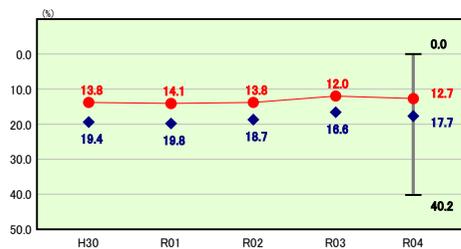
類似団体内順位 1/94 全国平均 12.5 富山県平均 8.9



**扶助費の分析欄**  
 子供の増加に伴う教育保育給付費の増等により扶助費が増加した。各種社会保障制度の拡充や本村独自の福祉制度の拡大を要因として、年々費用が増加している。今後は、村単独制度の見直し等を図り、費用対効果を見極めながら低減を図る必要がある。

### 公債費

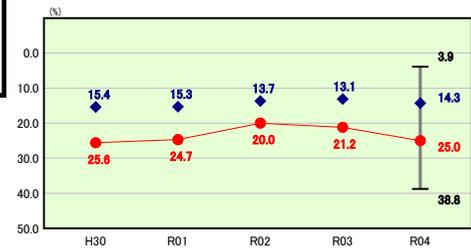
類似団体内順位 18/94 全国平均 16.0 富山県平均 19.0



**公債費の分析欄**  
 自治体の規模が小さいことから、類似団体平均を下回っている学校教育施設の整備事業や地方道路等整備事業に係る償還等が開始されたことにより、公債費は増加。今後も既存施設の長寿命化及び改修等による増加が見込まれる。今後一層、新規の起債発行を抑制することが求められる。

### 物件費

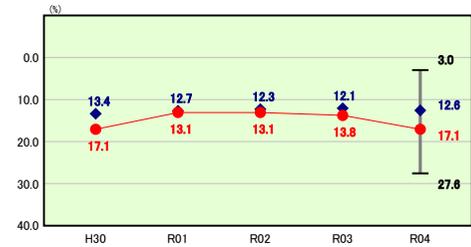
類似団体内順位 90/94 全国平均 14.9 富山県平均 13.9



**物件費の分析欄**  
 マイナンバー制度、社会保障や税務事務分野での制度改正対応により物件費が年々増加してきている。今後も、情報クラウドシステム化やRPAの導入等を一層推進させるなど、費用の抑制に向けた取り組みが必要である。

### 補助費等

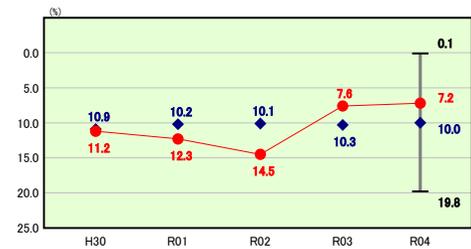
類似団体内順位 77/94 全国平均 10.5 富山県平均 12.0



**補助費等の分析欄**  
 こども園増築に係る補助金の皆増や、コロナ関連補助金の増加等で大幅に増額となった。今後も各種団体の繰越金の精査等により補助費の縮減が必要である。

### その他

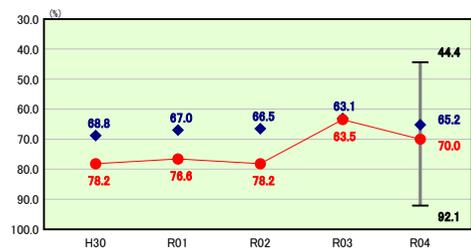
類似団体内順位 27/94 全国平均 12.4 富山県平均 13.8



**その他の分析欄**  
 特別会計(国民健康保険事業、後期高齢者医療事業)への操出金の減少により0.4%減となった。今後さらに医療費増加による国民健康保険事業・後期高齢者医療事業、施設老朽化に対する簡易水道事業への操出金が増加することが見込まれることから、効果的な保険事業や施設の適切な維持管理に努める必要がある。

### 公債費以外

類似団体内順位 60/94 全国平均 76.2 富山県平均 69.7



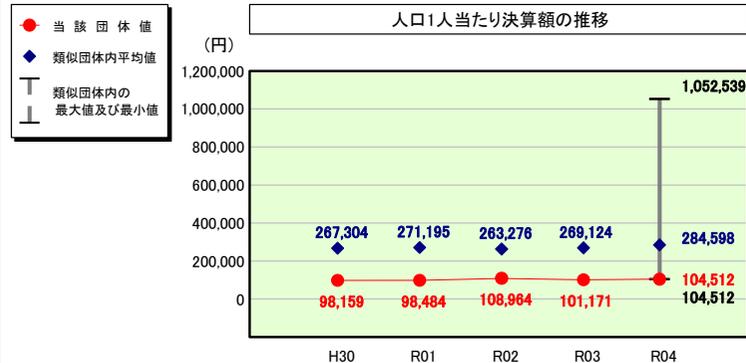
**公債費以外の分析欄**  
 県平均、類似団体平均を上回っており、深刻な状況であると捉えている。歳入の大幅な増加は見込めないため比率の低減は経常経費の抑制が必要となる。いずれの項目にしても、事業計画段階から大幅な見直しを行う必要がある。

## (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

富山県舟橋村

### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

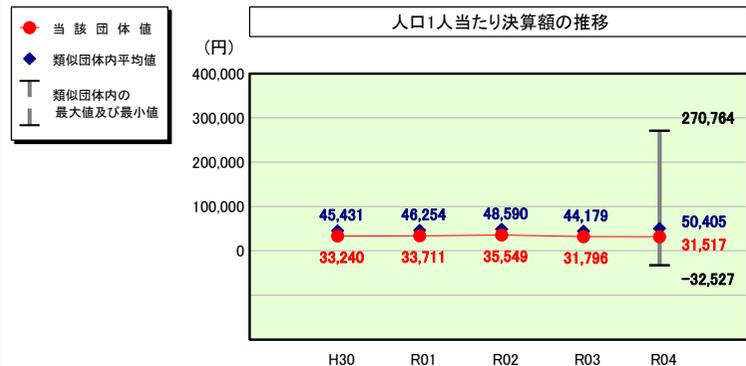
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	301,716	92,240	255,467	▲ 63.9
一部事務組合負担金(補助費等)	43,662	13,348	29,275	▲ 54.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	3,959	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	10,443	3,193	9,349	▲ 65.8
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	7,450	2,278	4,659	▲ 51.1
▲退職金	▲ 21,412	▲ 6,546	▲ 18,111	▲ 63.9
合計	341,859	104,512	284,598	▲ 63.3

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.56	25.07	▲ 16.51
ラスパイレス指数	92.3	94.5	▲ 2.2

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

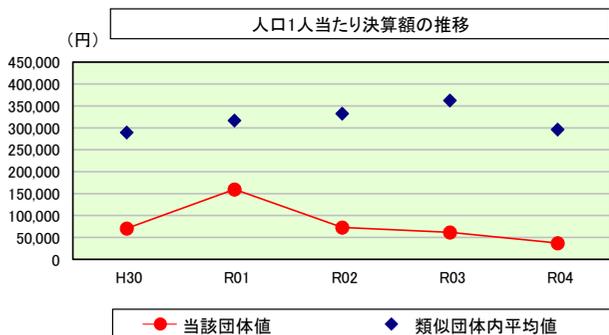


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	170,782	52,211	156,764	▲ 66.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	-	-	30,923	-
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	79,533	24,315	4,657	422.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	883	270	888	▲ 69.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	21	-
▲特定財源の額	▲ 4,017	▲ 1,228	▲ 6,724	▲ 81.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 144,088	▲ 44,050	▲ 136,123	▲ 67.6
合計	103,093	31,517	50,405	▲ 37.5

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

### (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H30	220,738	70,591	▲ 54.8	289,738	▲ 8.7	▲ 46.1
うち単独分	78,139	24,988	▲ 47.8	156,238	▲ 4.9	▲ 42.9
R01	505,238	159,835	126.4	316,937	9.4	117.0
うち単独分	75,210	23,793	▲ 4.8	199,150	27.5	▲ 32.3
R02	234,586	73,034	▲ 54.3	332,350	4.9	▲ 59.2
うち単独分	145,126	45,182	89.9	200,453	0.7	89.2
R03	202,353	61,806	▲ 15.4	362,690	9.1	▲ 24.5
うち単独分	151,311	46,216	2.3	172,580	▲ 13.9	16.2
R04	121,813	37,240	▲ 39.7	296,093	▲ 18.4	▲ 21.3
うち単独分	73,876	22,585	▲ 51.1	140,545	▲ 18.6	▲ 32.5
過去5年間平均	256,946	80,501	▲ 7.6	319,562	▲ 0.7	▲ 6.9
うち単独分	104,732	32,553	▲ 2.3	173,793	▲ 1.8	▲ 0.5

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

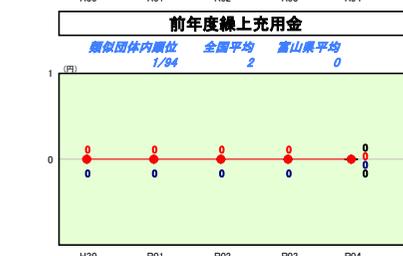
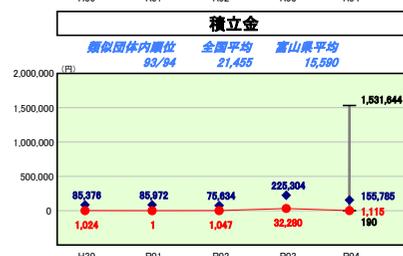
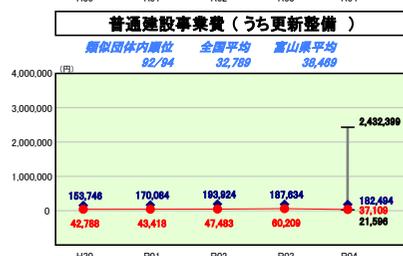
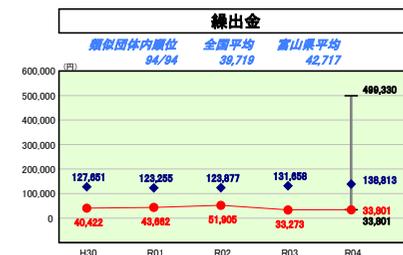
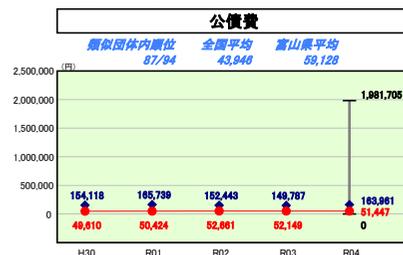
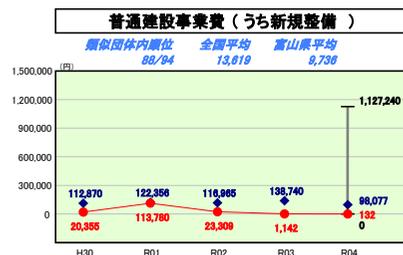
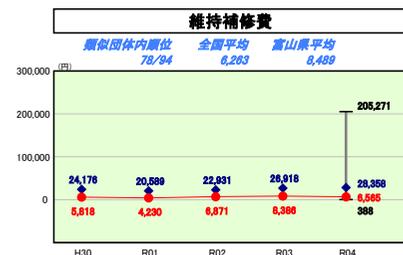
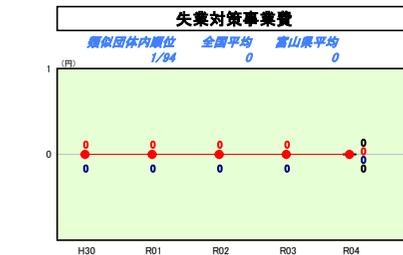
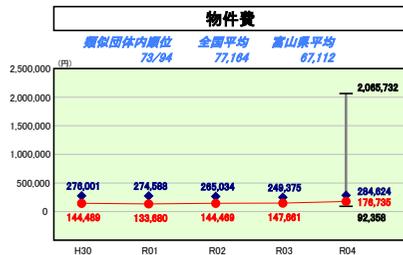
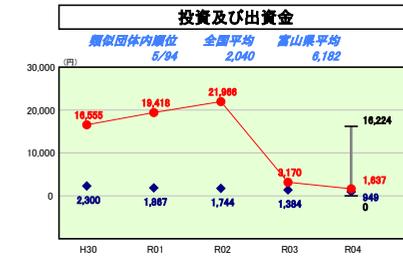
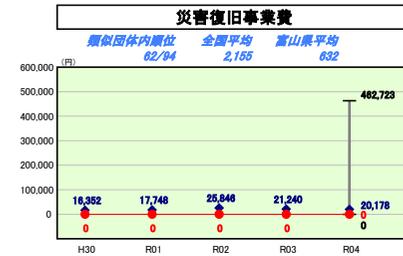
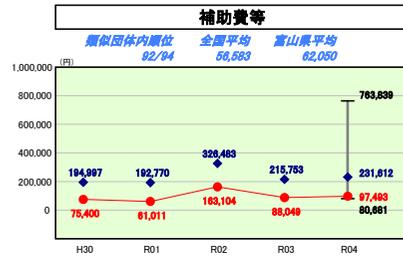
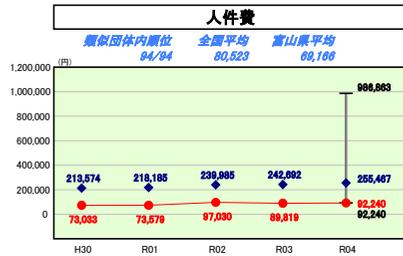
令和4年度

富山県舟橋村

人口	3,271人(05.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	3,221人(05.1.1現在)	連結実収赤字比率	-%
面積	3.47km <sup>2</sup>	実収公債費比率	9.6%
歳入総額	2,161,891千円	将来負担比率	61.1%
歳出総額	1,923,995千円	市町村類型	H30 I-2 R01 I-2 R02 I-2
実収収支	219,593千円	(年度毎)	R03 I-2 R04 I-2
標準財政規模	1,283,885千円		
地方債現在高	1,868,859千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 性質別歳出の分析

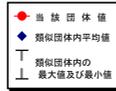
自治体の規模が小さく平野部に位置しているため、インフラや公共施設に関する経費が少なく、廃棄物処理・下水道・介護保険・消防を一部事務組合で実施していることから、全体的に類似団体内平均値を下回っている。  
 義務的経費については、人件費は増加、物件費は各種システム更新等による増加、補助費等はこちらも圏増による増加などにより増加した。  
 普通建設事業費は、新規整備・更新整備ともに減少したが、インフラや公共施設の計画的な維持管理を図っていく必要がある。  
 臨時的要素を除くと増加傾向にあり、経常収支比率の上昇による財政硬直化の要因となっている。  
 今後事業の適切な見直しを行い健全な財政運営に努める。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

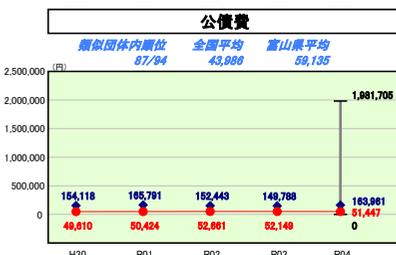
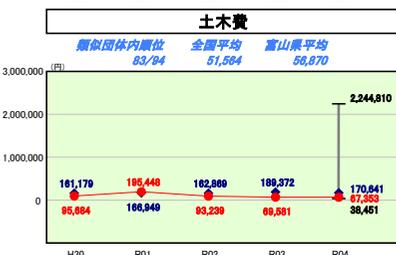
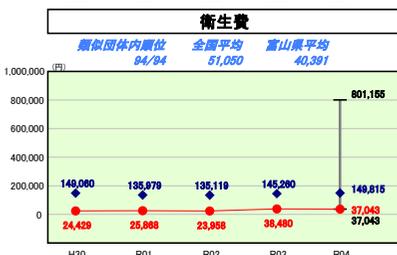
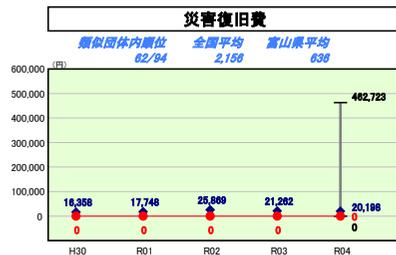
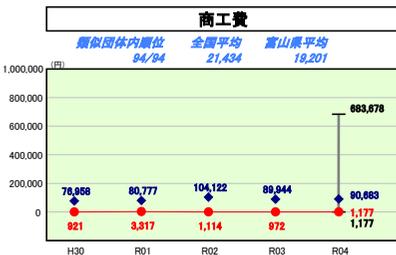
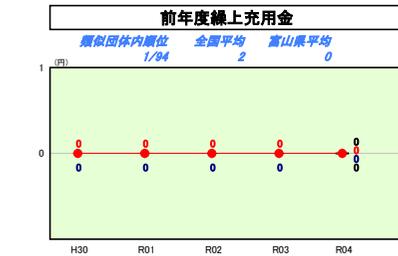
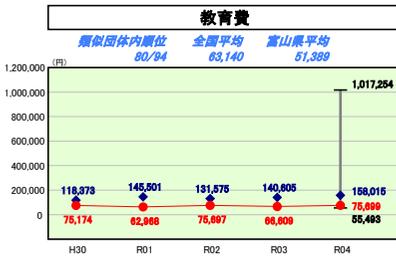
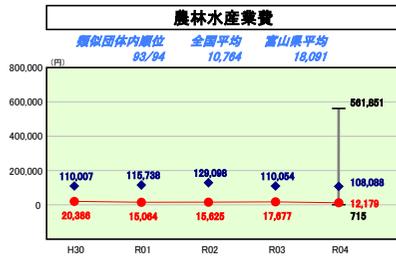
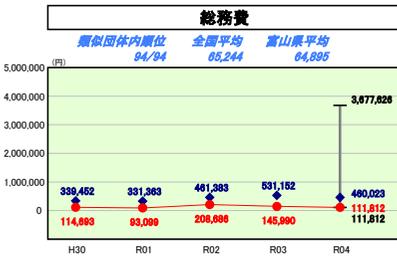
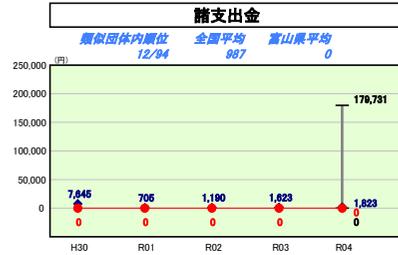
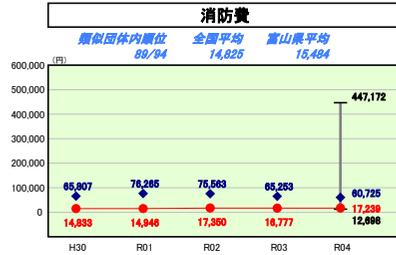
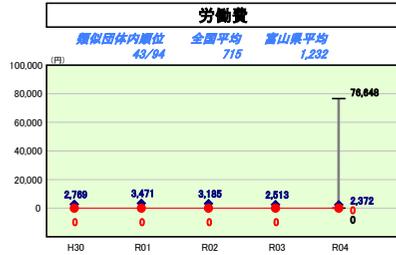
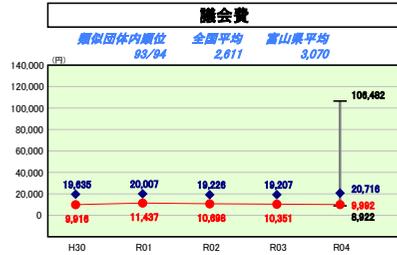
令和4年度

富山県舟橋村

人口	3,271人(05.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	3,221人(05.1.1現在)	通算実収赤字比率	-%
面積	3.47km <sup>2</sup>	実収公債費比率	9.6%
歳入総額	2,161,891千円	将来負担比率	61.1%
歳出総額	1,923,995千円	市町村類型	H30 I-2 R01 I-2 R02 I-2
実収収支	219,593千円	(年度毎)	R03 I-2 R04 I-2
標準財政規模	1,283,885千円		
地方債現在高	1,868,859千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 目的別歳出の分析

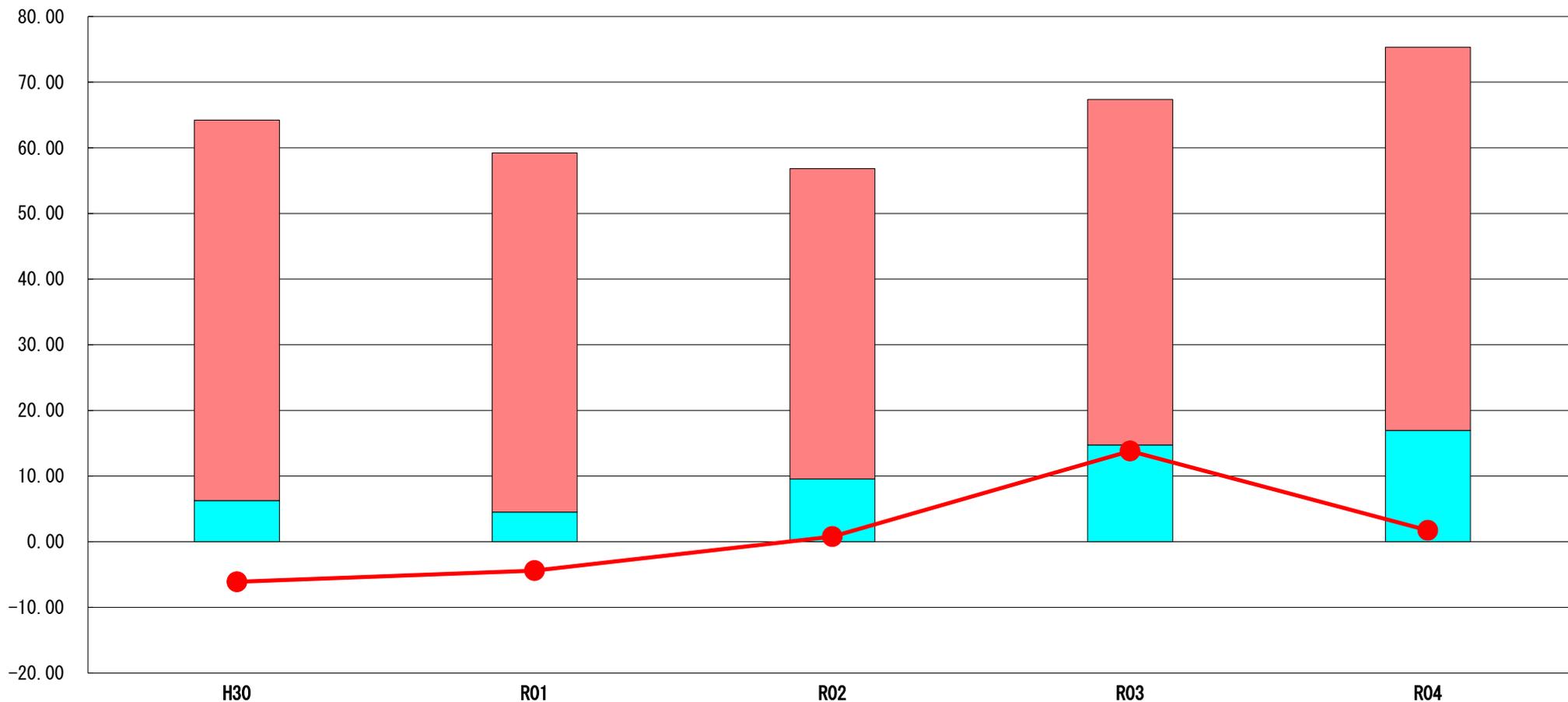
自治体の規模が小さく平野部に位置しているため、インフラや公共施設に関する経費が少ない。  
 議会費は、議員報酬が低い水準であるため類似団体平均を下回っている。  
 民生費は、国民健康保険事業特別会計繰出金の減少等により減少した。  
 土木費は、除雪費用の減少、及び道路事業費の減少により減少した。  
 教育費は、GIGAスクール構想や新型コロナウイルス感染症関連交付金事業により増加した。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

令和4年度

富山県舟橋村

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H30	R01	R02	R03	R04
 財政調整基金残高		57.95	54.71	47.27	52.64	58.35
 実質収支額		6.27	4.51	9.56	14.73	16.97
 実質単年度収支		▲ 6.10	▲ 4.40	0.77	13.81	1.73

**分析欄**

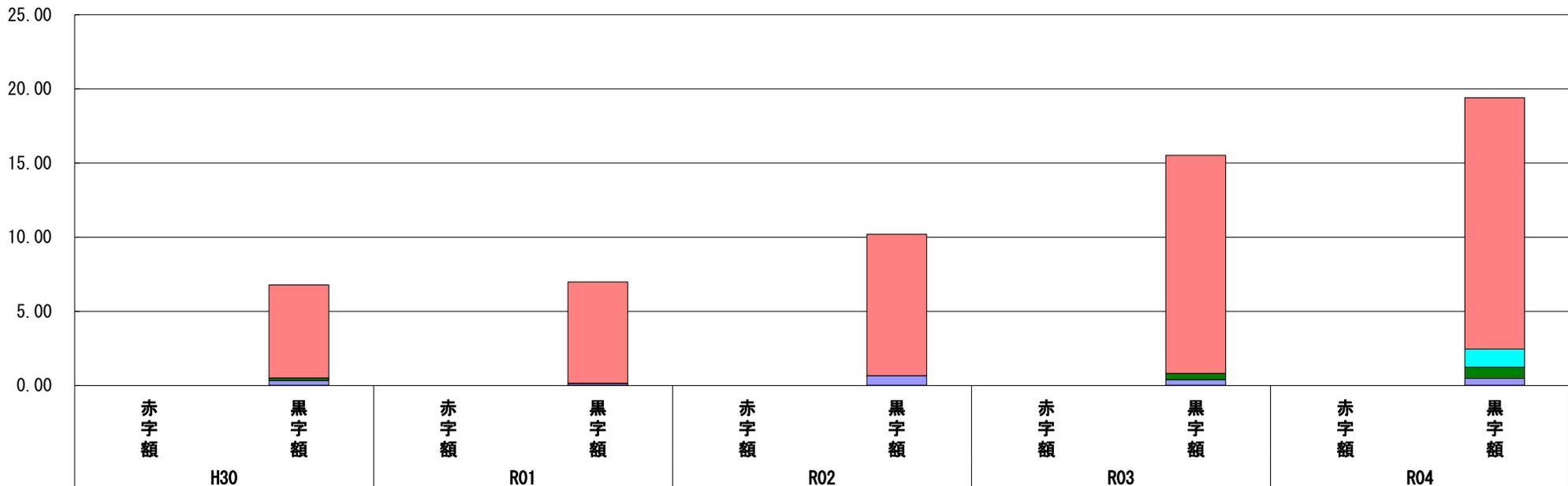
財政調整基金は、令和2年度に0.55億円取崩しを行っており、それ以降は取崩しを実施せずに運営、年々残高が増加している状況である(残高7.55億円)。実質単年度収支についても、引き続き黒字を確保している。  
 今後も、事業の見直し・統廃合など歳出の合理化等行財政改革を推進し、健全な行財政運営に努めていく。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和4年度

富山県舟橋村

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H30	R01	R02	R03	R04
一般会計		6.27	6.82	9.53	14.70	16.94
簡易水道事業		0.00	0.00	0.00	0.00	1.22
後期高齢者医療事業		0.18	0.02	0.00	0.42	0.76
国民健康保険事業		0.31	0.12	0.64	0.38	0.46
土地取得事業特別会計		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

## 分析欄

一般会計では、令和3年度と比較し2.24%上昇し、令和4年度末には、財政調整基金に1.0億円積立している。  
 なお、国民健康保険事業は医療費の高騰が続いており、財源確保に向けた保険税引き上げ等が必要である。

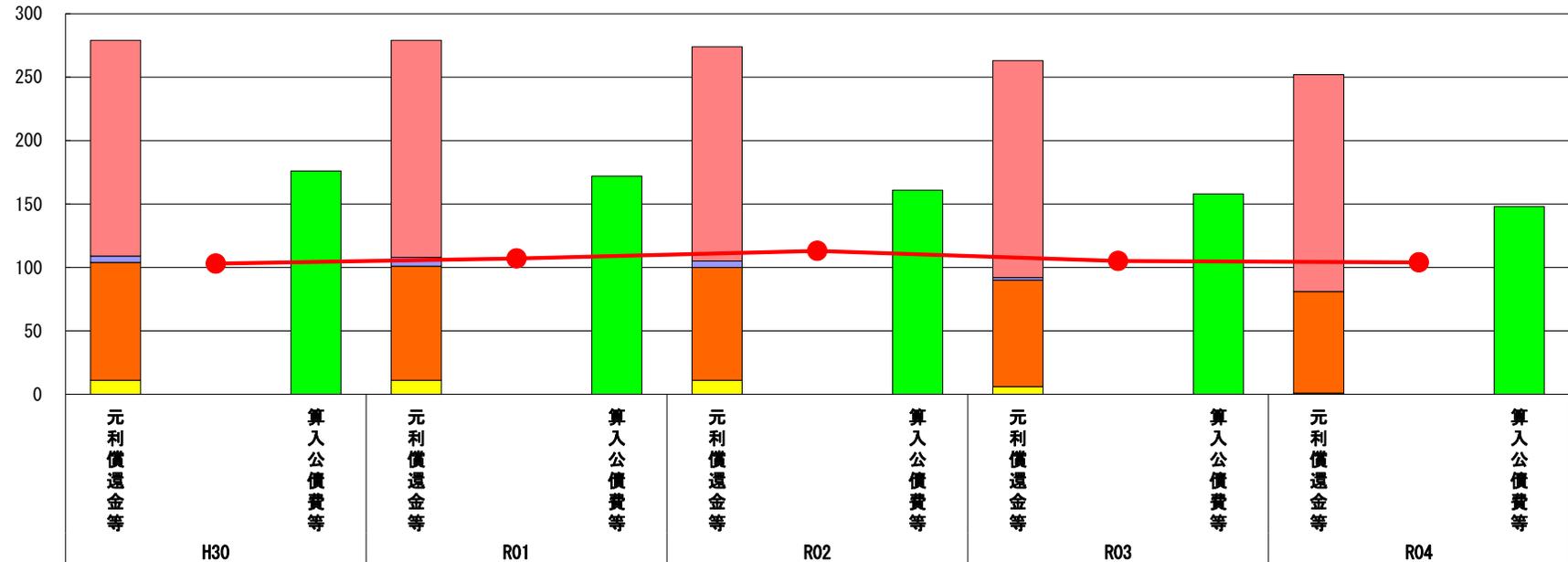
※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

富山県舟橋村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
元利償還金等 (A)	元利償還金		170	171	169	171	171
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		5	7	5	2	-
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		93	90	89	84	80
	債務負担行為に基づく支出額		11	11	11	6	1
	一時借入金の利子		-	-	0	0	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		176	172	161	158	148
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		103	107	113	105	104

**分析欄**  
 令和4年度決算（単年度）における元利償還金は171百万円。令和4年度以降の元利償還金も概ね1.7億円であり、今後も同水準で推移するものと見込んでいる。

※1 令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※2 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等 (注)		年度	H30	R01	R02	R03	R04
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)						
	前年度末減債基金残高 (D)						
	前年度末減債基金積立相当額 (E)						

**分析欄**  
 該当なし

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

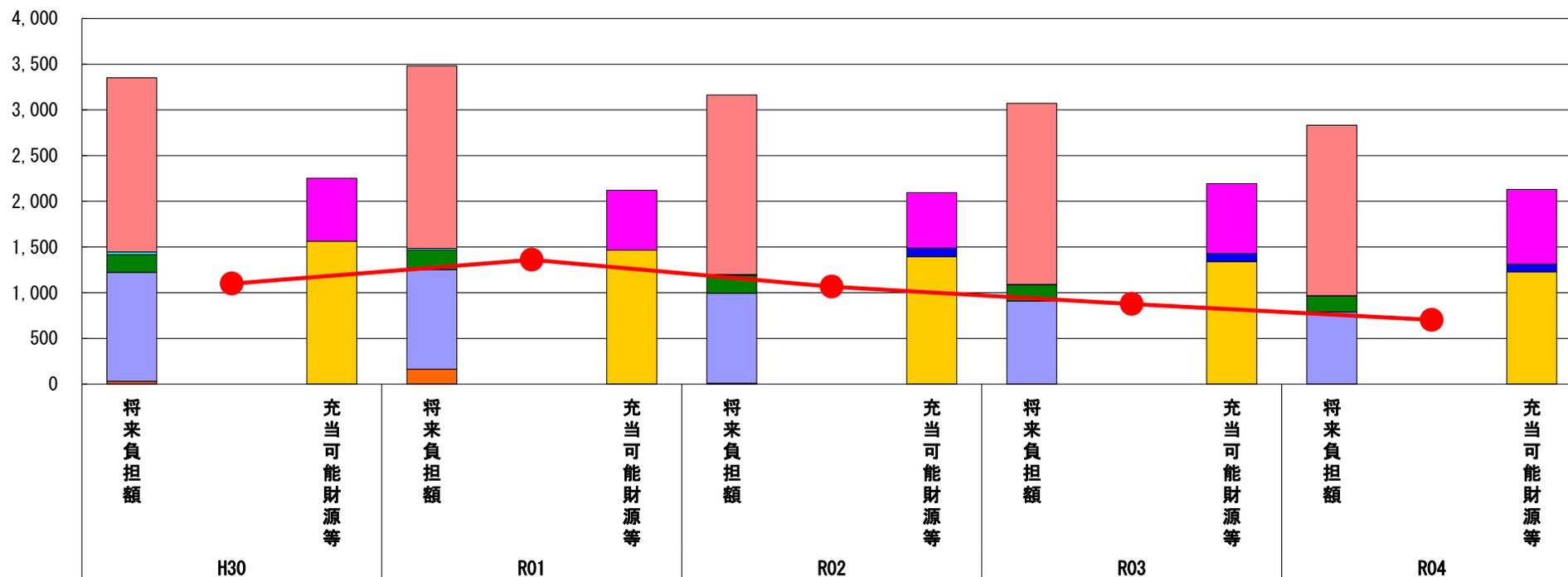
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

富山県舟橋村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,905	1,998	1,964	1,980	1,866
	債務負担行為に基づく支出予定額		31	20	9	3	2
	公営企業債等繰入見込額		192	211	195	181	177
	組合等負担等見込額		1,193	1,089	985	908	788
	退職手当負担見込額		30	164	10	-	-
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能財源等 (B)	充当可能基金		690	658	608	764
充当可能特定歳入			-	-	94	90	86
基準財政需要額算入見込額			1,563	1,464	1,394	1,340	1,226
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,099	1,360	1,066	877	703

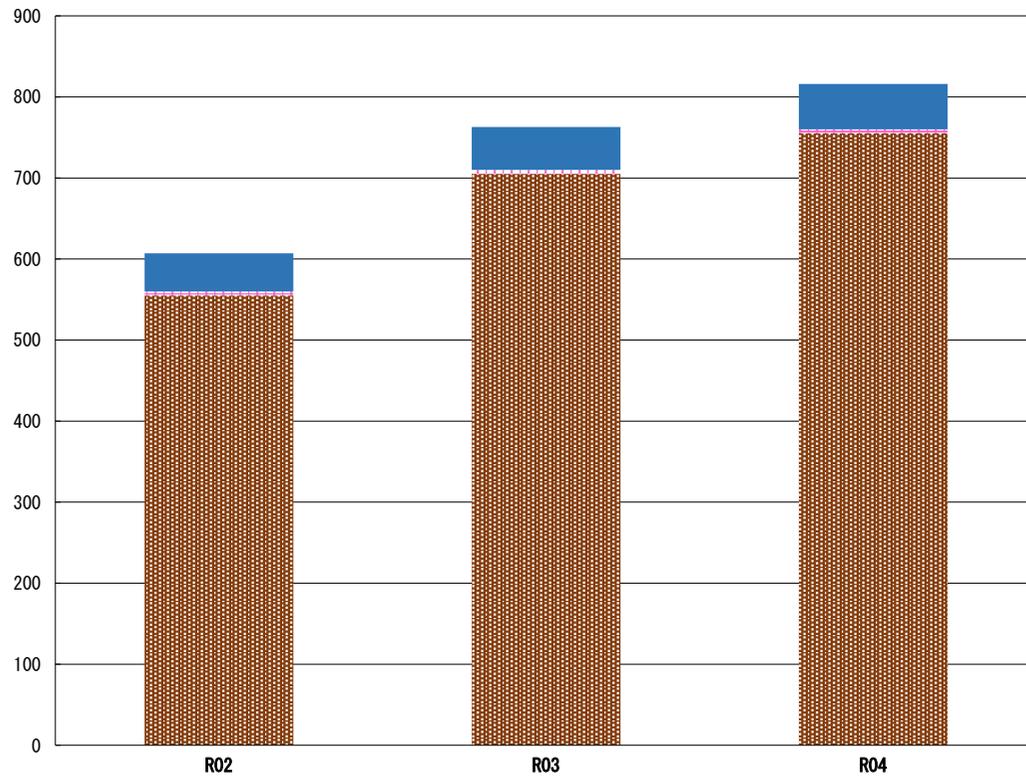
## 分析欄

将来負担額において、地方債残高は、前年度比▲0.1%減の1,866百万円であり、公園緑地事業や緊急防災・減災事業の償還終了等による要因である。  
 今後も公共施設の長寿命化等による財政調整基金の取崩しが想定され、また地方債発行抑制もより慎重に期すことが必要である。

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R02	R03	R04
財政調整基金		555	705	755
減債基金		5	5	5
その他特定目的基金		47	53	56
地域福祉基金		30	30	30
地域優良賃貸住宅修繕基金		3	9	13
農村環境創造基金		6	6	6
教育振興基金		4	4	4
地域振興基金		2	2	2
基金残高合計		607	763	817

令和4年度

富山県舟橋村

## 基金全体

(増減理由)

- 令和4年度末の基金残高は、8億17百万円となっており、前年度から54百万円の増額となっている
- これは、財政調整基金において、50百万円、その他特定目的基金で3百万円増加したことが主な要因である。

(今後の方針)

- 村税の減収などの不測の事態への対応に加え、地域優良賃貸住宅の修繕など、今後の財政需要の増大にも適切に対応していけるように一定額を確保していくことを予定している。

## 財政調整基金

(増減理由)

- 令和4年度末の基金残高は、7億55百万円となっており、前年度から50百万円の増額となっている

(今後の方針)

- 歳入歳出剰金の一部を財源として、一定額を確保していく

## 減債基金

(増減理由)

- 令和4年度末の基金残高は、5百万円となっており、前年度と同額である

(今後の方針)

- 今後の金利変動等の公債費の償還リスクに備えるため、収支改善の取組を着実に進め、一定額を確保していく

## その他特定目的基金

(基金の用途)

- 地域福祉基金：高齢者福祉環境の向上を図る
- 農村環境創造基金：土地改良施設等の機能増進を図る
- 教育振興基金：小中学校教育環境の向上を図る
- 地域優良賃貸住宅修繕基金：地域優良賃貸住宅の修繕を行う
- 地域振興基金：少子高齢化対策の向上を図る

(増減理由)

- 地域優良賃貸住宅の運営開始に伴い、住宅使用料の一部を財源に、地域優良賃貸住宅修繕基金への積立を開始したため

(今後の方針)

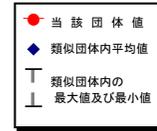
- その他特定目的基金全体：公共施設、インフラ等の長寿命化や多額の負担が見込まれる特定の財政支出に備えるため、一定額を確保していく

# (12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

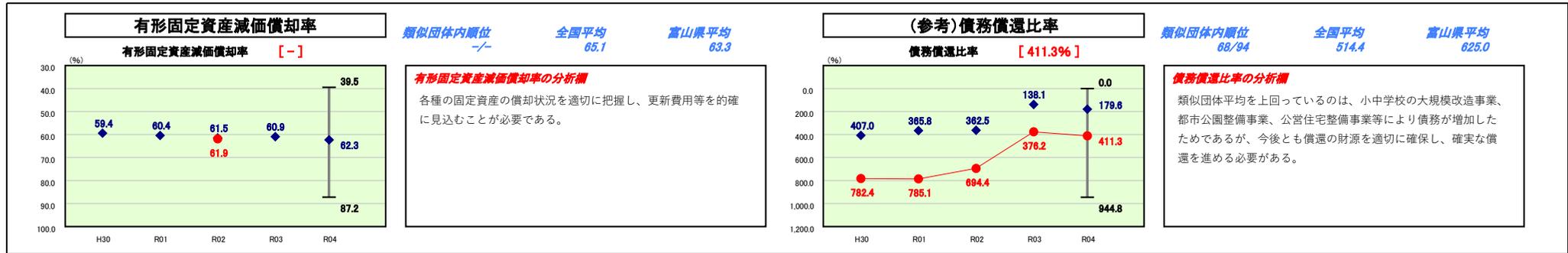
令和4年度

富山県舟橋村

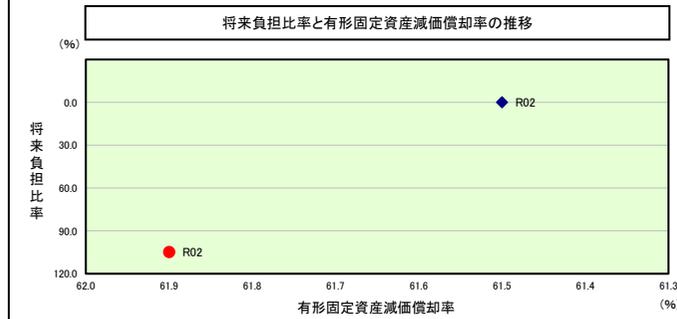
人口	3,271人 (R5.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	3,221人 (R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	3.47k㎡	実質公債費比率	9.6%
歳入総額	2,161,891千円	将来負担比率	61.1%
歳出総額	1,923,995千円	市町村類型	H30 I-2 R01 I-2 R02 I-2
実質収支	219,593千円	(年度毎)	R03 I-2 R04 I-2
標準財政規模	1,293,885千円		
地方債現在高	1,868,859千円		



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費比率、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



## 将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



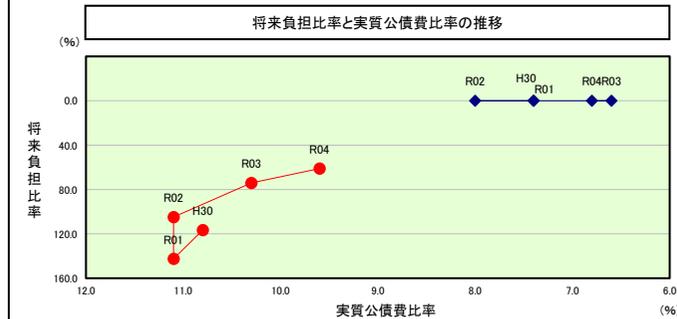
### 分析欄

将来負担は今後横ばいの見込みであるが、公共施設等の適切な維持補修を行いながら長寿命化を図るなど、大規模支出の抑制に努める必要がある。

### (参考)

		H30	R01	R02	R03	R04
当該団体値	将来負担比率			104.8		
	有形固定資産減価償却率			61.9		
類似団体内平均値	将来負担比率			0.0		
	有形固定資産減価償却率			61.5		

## 将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



### 分析欄

実質公債費比率はほぼ横ばいであるが、将来負担比率は令和元年度に公営住宅整備事業、認定こども園整備事業等により地方債残高がピークに達し、以降減少傾向である。近年の大型事業に係る借入は完了しているため、地方債残高は今後減少していく見込みである。以後、実質公債費比率はほぼ同水準、将来負担比率は減少を見込んでいるものの、公共施設の老朽化に係る費用や、一部事務組合の新規事業の発生など、予測できない事業の発生により、村の負担が大きくなる可能性がある。

### (参考)

		H30	R01	R02	R03	R04
当該団体値	将来負担比率	116.5	142.5	104.8	74.0	61.1
	実質公債費比率	10.8	11.1	11.1	10.3	9.6
類似団体内平均値	将来負担比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実質公債費比率	7.4	7.4	8.0	6.6	6.8

# (13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

令和4年度

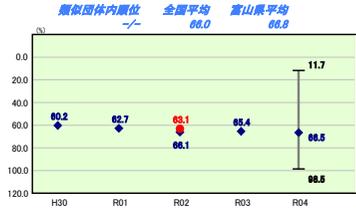
富山県舟橋村

人口	3,271人(05.1.1現在)	実業赤字比率	-%
うち日本人	3,221人(05.1.1現在)	通商実赤字比率	-%
世帯	3,47世帯	実業公債費比率	9.6%
歳入総額	2,161,891千円	将来負担比率	61.1%
歳出総額	1,923,595千円	市町村類型	H30 I-2 R01 I-2 R02 I-2
実収支	219,593千円	(年度毎)	R03 I-2 R04 I-2
標準財政規模	1,293,595千円		
地方債残高	1,068,559千円		

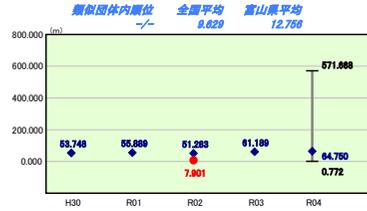


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。

【道路】  
有形固定資産減価償却率



【道路】  
一人当たり延長



【認定こども園・幼稚園・保育所】  
有形固定資産減価償却率



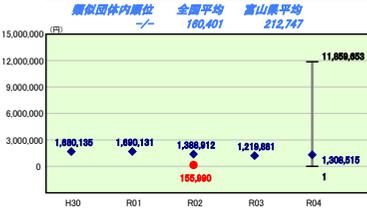
【認定こども園・幼稚園・保育所】  
一人当たり面積



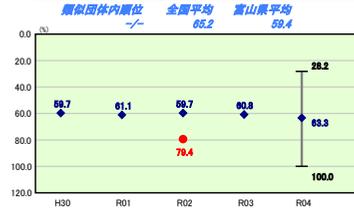
【橋りょう・トンネル】  
有形固定資産減価償却率



【橋りょう・トンネル】  
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



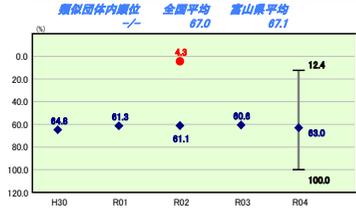
【学校施設】  
有形固定資産減価償却率



【学校施設】  
一人当たり面積



【公営住宅】  
有形固定資産減価償却率



【公営住宅】  
一人当たり面積



【児童館】  
有形固定資産減価償却率



【児童館】  
一人当たり面積



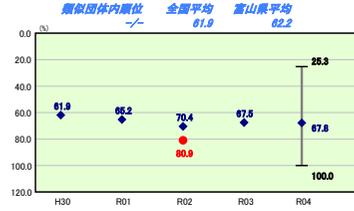
【港湾・漁港】  
有形固定資産減価償却率



【港湾・漁港】  
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



【公民館】  
有形固定資産減価償却率



【公民館】  
一人当たり面積



施設情報の分析値

面積が日本最小の自治体であることから、道路延長が極めて低くなっている。今後も大規模な新規路線の整備等は予定しておらず、減価償却の状況を加味しながら適切な維持管理に努める必要がある。  
 学校施設は、小中学校を各1校所有している。児童生徒数の大きな変動はないと予想されるため、増築等は予定しておらず、施設の長寿命化対策を適切に図る必要がある。

# (13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

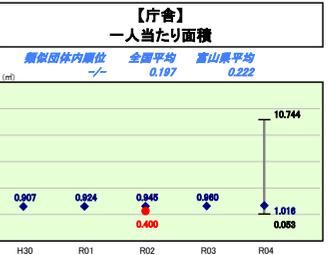
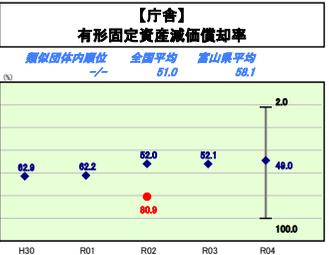
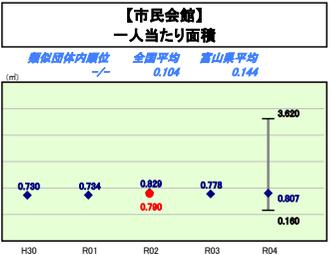
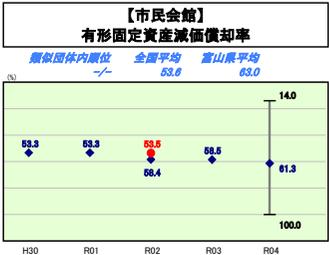
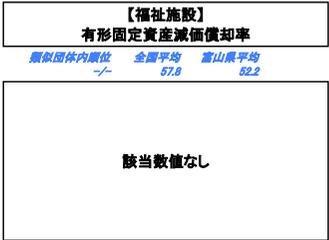
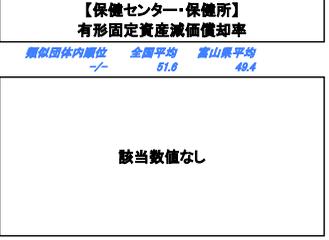
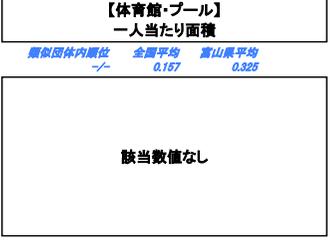
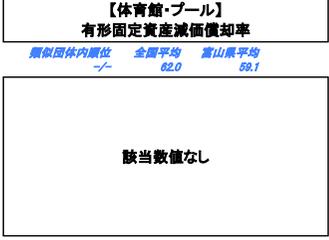
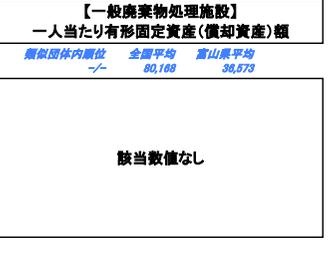
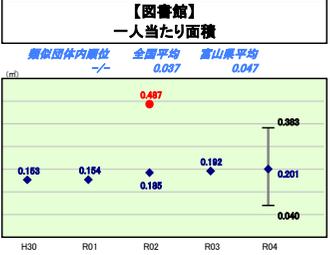
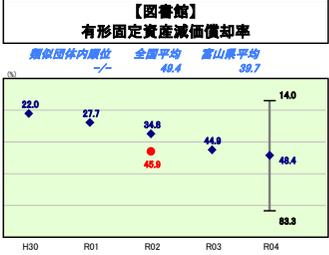
令和4年度

富山県舟橋村

人口	3,271人(05.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	3,221人(05.1.1現在)	連結実収赤字比率	-%
世帯数	3,471世帯	実収公費負担比率	9.6%
歳入総額	2,161,891千円	将来負担比率	61.1%
歳出総額	1,923,995千円	市町村類型	H30 I-2 R01 I-2 R02 I-2
実収収支	219,896千円	(年度毎)	R03 I-2 R04 I-2
標準財政規模	1,293,895千円		
地方債現在高	1,068,859千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



**施設情報の分析**  
 図書館及び市民会館は建築後約30年が経過し、これまでも電気設備、給排水設備、防水機能の改修を実施してきた。今後、既存の上記施設以外に新たなハコモノを建設する予定がないため、一層の有効活用を図るべく、施設機能の向上や長寿命化を推進する必要がある。